

**公益財団法人平野政吉美術財団**  
**令和6年度 事業実施計画**

- I 展示公開事業**
- II 教育普及事業**
- III 調査研究事業**
- IV 美術ホール運営事業**
- V 売店事業**

## 令和6年4月1日～令和7年3月31日

### <基本方針>

1930年代の藤田嗣治の油彩画を中心とした平野政吉コレクションの展示や美術品に関する調査・研究等をふまえ、県民をはじめ広く世界に当財団の基本財産の意義を発信する。

### <重点事業>

- ・基本財産調査の研究の成果を、展示公開事業である常設展、企画展、特別展に生かす。
- ・企画展は、平野政吉コレクションのなかから人が暮らし営む「街」を主題にした作品を展観する「平野政吉コレクション・絵画のなかの「街」(仮題)」、藤田嗣治作品を、藤田自身が残した言葉とともに紹介する「藤田嗣治 言葉をつむぐ(仮題)」を開催する。
- ・特別展としては、日本の近代美術史に名を遺した作家たちの作品を展示する「日本の洋画 130年 珠玉の名品たち」、アクリル樹脂に絵の具を重ねて描く独自の技法で立体的な金魚を作り出す美術作家・深堀隆介の「深堀隆介展 水面のゆらぎの中へ」、ベル・エポック(美しき時代)と呼ばれる19世紀末から20世紀にかけてフランス・パリで活躍した作家や芸術の潮流を展観する「ロートレックとベル・エポックの巴里展」を開催する。
- ・教育普及事業としては、専門的美術講座、講演会、美術館教室やワークショップ、ギャラリートーク、コンサート、出前授業等のイベントを実施し、県民に親しまれる美術館を目指す。
- ・壁画《秋田の行事》については、月一回の定例ギャラリートークを実施する。平野政吉と藤田嗣治の交流、および壁画のテーマとなった「秋田」について理解を深めることができるような解説を行う。
- ・学校と連携し、美術館における幼児、児童、生徒、大学生の学習の充実に務める。
- ・セカンドスクールについては、学年に応じた解説を行い、ワークシートを活用し、作品に向き合う姿勢を涵養する。
- ・セルフガイドの作成、わかりやすい解説など、よりよい鑑賞の実現に取り組む。
- ・展示作品について研修し、他の美術館と交流し、美術館スタッフの資質向上に努める。

### <貸しホール事業>

- ・県民の創作活動発表の場である美術ホール(県民ギャラリー)は、ホールの特性を生かした利用促進を図る。

## I 展示公開事業

### <1> 常設展示事業

平野政吉コレクションの核である藤田嗣治作品を展覧し、1930年代の藤田の画業を紹介する。

#### 常設展 平野政吉コレクション展Ⅰ

1 会 期 令和6年4月20日（土）～ 6月30日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー

#### 3趣旨

平野政吉コレクションから、藤田嗣治が描いた女性像を展覧する。

#### 4 主な展示作品

藤田嗣治《眠れる女》、《Y夫人肖像》、《女》など

#### 常設展 平野政吉コレクション展Ⅱ

1 会 期 令和6年7月6日（土）～9月29日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー

#### 3趣旨

藤田嗣治が旅した中南米や中国をテーマにした作品および資料を展示する。

#### 4 主な展示作品

藤田嗣治《町芸人》、《北平の力士》、《北京での素描》など

#### 常設展 平野政吉コレクション展Ⅲ

1 会 期 令和6年10月5日（土）～12月15日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー

#### 3趣旨

平野政吉コレクションの中から、藤田嗣治が日本滞在期に描いた作品を展示する。

#### 4 主な展示作品

藤田嗣治《自画像》、《客人（糸満）》、《力士》、《ちんどん屋三人組》など

#### 常設展 平野政吉コレクション展Ⅳ

1 会 期 令和6年12月21日（土）～令和7年4月13日（日）（予定）

※休館日 12月31日（火）～1月2日（木）

3月10日（月）～3月19日（水）（予定）

2 会 場 大壁画ギャラリー

#### 3趣旨

藤田嗣治の画室の絵を中心に展覧。藤田が愛蔵した品々も展示する。

#### 4 主な展示作品

藤田嗣治《吾が画室》、《私の画室》、中南米での収集品など

### <2> 企画展示事業

平野政吉美術財団所蔵作品、および秋田県立近代美術館所蔵作品、県内の研究者の協力を組み合わせた展覧会を開催する。

#### 企画展 平野政吉コレクション・絵画のなかの「街」(仮題)

- 1会期 令和6年7月6日(土)～9月29日(日)  
2会場 ギャラリー1・2  
3趣旨

人が暮らし、生活を営む「街」。本展では、平野政吉コレクションの中から「街」が描かれた作品を展覧し、画家たちがとらえた生活の舞台としての街に注目する。

#### 企画展 藤田嗣治 言葉をつむぐ(仮題)

- 1会期 令和6年12月21日(土)～令和7年4月13日(日)(予定)  
※休館日 12月31日(火)～1月2日(木)  
3月10日(月)～3月19日(水)(予定)  
2会場 ギャラリー1・2  
3趣旨

藤田嗣治は絵を描くかわら、エッセイを執筆するなど多くの言葉を残した。それは作品にまつわるものも多い。このたびの展覧会では、作品とともに藤田の言葉を紹介する。

#### <3>特別展示事業

美術の動向や時代の状況を踏まえてテーマを設定し、他館からの借用作品を中心に構成した展覧会を開催する。

#### 特別展 日本の洋画130年 珠玉の名品たち

- 1会期 令和6年4月20日(土)～6月30日(日)  
2会場 ギャラリー1・2  
3趣旨

江戸時代後期から明治にかけて西洋から渡ってきた絵画は、日本の美術界に大きな変化を与えた。迫真的な写実表現に強い衝撃を受けた当時の画家たちは、苦心しながらも手探りでその画法を学んだ。明治になると、多くの画家たちがヨーロッパに留学するようになる。西洋絵画の基礎を学んだ画家たちは日本に本格的な洋画をもたらした。また東京美術学校で後進を育成するなど、日本の近代洋画に大きな影響を与えた。大正に入ると、自由主義な時代の気風のもと、多様で個性的な表現を模索する画家たちが登場する。このようななかで、フランスで前衛的な美術表現に触れ帰国した画家たちが日本で新たな美術表現を生み出し、大正から昭和にかけて絵画は豊かな展開をみせた。

このたびの展覧会では、日本洋画の父ともいわれる高橋由一、五姓田義松をはじめ、日本近代洋画の礎を築いた黒田清輝、藤島武二、浅井忠、青木繁、そして戦後の具象彫刻をリードした舟越保武など、明治から現代にいたる画家・彫刻家の作品を紹介。日本近代美術史に名を遺す巨匠たちの作品を展覧し、日本洋画の歩みを辿る。

#### 4 主な展示作品

高橋由一《鮭図》、五姓田義松《人形の着物》、黒田清輝《黒田清兼像》、藤島武二《日の出》、佐伯祐三《パリの街角》、鴨居玲《勲章》など

#### 特別展 深堀隆介展 水面のゆらぎの中へ

- 1会期 令和6年8月4日(日)～9月29日(日)  
2会場 県民ギャラリー  
3趣旨

透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描く驚異の超絶技巧で注目を集める若手作家・深堀隆介。一連の金魚作品は国内のみならず今や世界的に高い評価を受けている。近年ではライブペインテ

イングやインスタレーションにも力を入れ、ますます表現の幅を広げている。本展では初期の立体作品から最新作インスタレーションを含む代表作を展示。本物と見紛うほどの立体的な躍動感と不思議な美しさを湛えた、深堀隆介の世界を紹介する。

#### 4 主な展示作品

深堀隆介《方船》、《金魚酒 命名 鈴夏》、《秋敷》など

### 特別展 ロートレックとベル・エポックの巴里展（仮題）

1 会 期 令和6年10月5日（土）～ 12月15日（日）

2 会 場 ギャラリー1・2

#### 3 趣旨

19世紀末から20世紀初頭にかけて、パリは世界有数の大都市として大きく発展した。「ベル・エポック（美しき時代、良き時代）」と呼ばれたこの時代、産業の近代化や経済の発展を背景にパリの人々は平和で豊かな生活を謳歌した。1900年にはパリ万国博覧会が開催され、美術界においても象徴主義、アール・ヌーヴォー、フォーヴィスムなどの新たな美術運動が起こり、この世紀転換期に幅広く展開された。また、劇場での歌曲や舞踏などの流行により、ポスターや風俗画等が数多く制作された。

本展では、大胆な表現力でポスターを芸術の域まで高め、後世に大きな影響を与えた画家・トゥールーズ＝ロートレックを中心に、ミュシャやドガ、デュフィら同時期の画家たちの作品を展観。ベル・エポック時代を象徴する女性のファッション、人々の生活、劇場や盛り場など華やかな時代の姿を映し出したパリの芸術を紹介する。

#### 4 主な展示作品

トゥールーズ＝ロートレック《ディバン・ジャポネ》、アルフォンス・ミュシャ《四季》、エドガー・ドガ『ルキアノスの娼婦たちの無言劇』など

## II 教育普及事業

美術館に親しみ、美術への理解を深めてもらうため、さまざまな年齢層、多様な立場の方を対象にした講演会、美術館教室、ワークショップ、ギャラリートークなどを実施する。

#### （1） 専門的美術講座

事業名 専門的美術講座「館長講話 子どもの絵について（仮題）」

講師 澁谷重弘（秋田県立美術館 館長）

実施日 令和6年10月上旬（予定）

対象 一般

会場 レクチャールーム

#### （2） 講演会

事業名 「日本の洋画 130年 珠玉の名品たち」関連講演会

講師 長谷川徳七氏（笠間日動美術館館長・株式会社日動画廊代表取締役社長）

実施日 令和6年4月21日（日）

対象 一般

会場 レクチャールーム

事業名 「ロートレックとベル・エポックの巴里展」関連講演会

講師 未定

実施日 令和6年11月（予定）

対象 一般

会場 レクチャールーム (予定)

### (3) 美術館教室

事業名 美術館教室「手話による作品解説 (仮題)」

講師 学芸員、手話通訳者

実施日 令和6年9月 (予定)

対象 一般

会場 大壁画ギャラリー (予定)

事業名 美術館教室「館長によるデッサン講座 (仮題)」

講師 澁谷重弘 (秋田県立美術館 館長)

実施日 未定

対象 一般

会場 レクチャールーム (予定)

### (4) ワークショップ

事業名 ワークショップ「鮭ストラップをつくろう (仮題)」

講師 未定

実施日 令和6年4月下旬 (予定)

対象 一般

会場 レクチャールーム

事業名 ワークショップ「羊毛フェルトで秋田犬をつくってみよう (仮題)」

講師 未定

実施日 令和6年6月上旬 (予定)

対象 小学生以上、一般

会場 レクチャールーム

事業名 ワークショップ「館長ワークショップ (仮題)」

講師 未定

実施日 令和6年12月上旬 (予定)

対象 小学生以上、一般

会場 レクチャールーム

### (5) ギャラリートーク

特別展 「日本の洋画 130年 珠玉の名品たち」

実施日 令和6年5月4日 (土)、5月19日 (日)、6月15日 (土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

特別展 「ロートレックとベル・エポックの巴里展 (仮題)」

実施日 令和6年10月、11月 (予定)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

企画展 「平野政吉コレクション・街 (仮題)」

実施日 令和6年7月、8月、9月 (予定)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

企画展 「藤田嗣治 言葉をつむぐ（仮題）」  
実施日 令和7年1月、2月、3月  
講師 学芸員  
会場 ギャラリー1・2

学芸員による《秋田の行事》トーク

実施日 毎月第1土曜日、竿燈期間中—令和6年8月3日（土）、8月4日（日）、8月5日（月）、  
8月6日（火）  
講師 学芸員  
会場 大壁画ギャラリー

（6） ミュージアムコンサート  
事業名 「クリスマスコンサート（仮題）」  
出演者 未定  
実施日 令和6年12月上旬（予定）  
会場 未定

（7） エリアなかいち関連イベント  
事業名 「ステンシル版画でオリジナルカレンダー作り（仮題）」  
実施日 令和7年2月上旬（予定）  
講師 学芸員  
会場 にぎわい交流館 AU

（8） 出前講座  
事業名 「壁画《秋田の行事》からのメッセージ」  
実施日 未定  
講師 学芸員  
実施校 未定

### Ⅲ調査研究事業

《秋田の行事》をはじめとする平野政吉コレクション、および藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を公表する。

### Ⅳ美術ホール（県民ギャラリー）運営事業

事業内容

1. 絵画、デザイン、彫刻、書道、写真、児童・生徒作品等、美術ホール（県民ギャラリー）で展示する個人および団体の利用受付業務、展示指導を行う。
2. 美術ホール（県民ギャラリー）と2階・3階の展示室あわせての鑑賞を促進する。

### Ⅴ売店事業

藤田作品の理解を深めるため、インターネットでの《秋田の行事》の額絵販売を行う。  
秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者へ絵はがき等の販売を委託する。